

3. 環境情報に関する意識（問 3）

3-1 環境問題に関する情報についての評価

環境情報についての満足度は、最も高いものでも「暮らしの中での環境保全のための工夫や行動」27%、「地球環境問題の情報」26%などとなっており、平成 20 年度調査よりも低くなっている。

環境問題に関する情報の満足度（「十分満足している」、「まあ満足している」の合計）が高いのは、「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」27%が最も高く、次いで「地球環境問題の情報」26%、「地域環境の情報」25%、「日常生活が環境に及ぼす影響」25%とつづく。平成 20 年度調査と比較すると減少しているが、平成 19 年度調査と同程度となっている。

性別でみると、女性の方が男性よりも比較的高い傾向がみられる。女性が男性よりも 5 ポイント以上高くなって項目は以下となっている。

- 「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」29%
- 「地球環境の状況」28%
- 「地域環境の情報」28%

年代別でみると、20 代、60 代、70 代以上が比較的高い満足度が高い傾向がみられる。全体よりも 5 ポイント以上高い項目は以下となっている。

20 代

- 「購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報」31%
- 「企業の環境保全に関する取組状況」21%
- 「世界的な環境保全の動き」20%

60 代

- 「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」32%

70 代以上

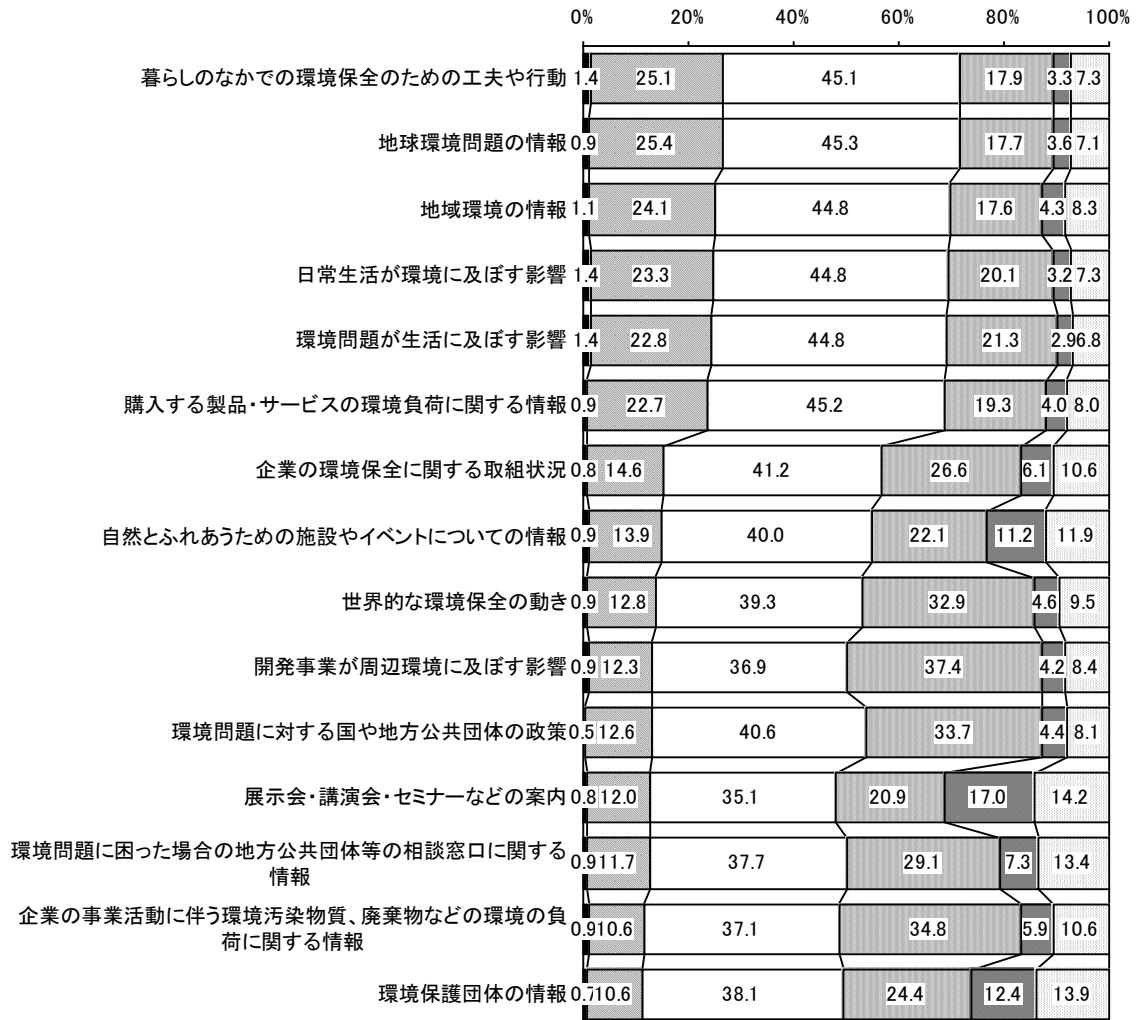
- 「地球環境問題の情報」31%
- 「地域環境の情報」30%

職業別でみると、会社役員・会社経営が多くの項目で満足度が高い傾向がみられる。特に、「日常生活が環境に及ぼす影響」「環境問題が生活に及ぼす影響」はともに 42%と高くなっている。

地域別でみると、九州・沖縄で全体的に高くなっており、中国・四国では低い傾向がみられる。

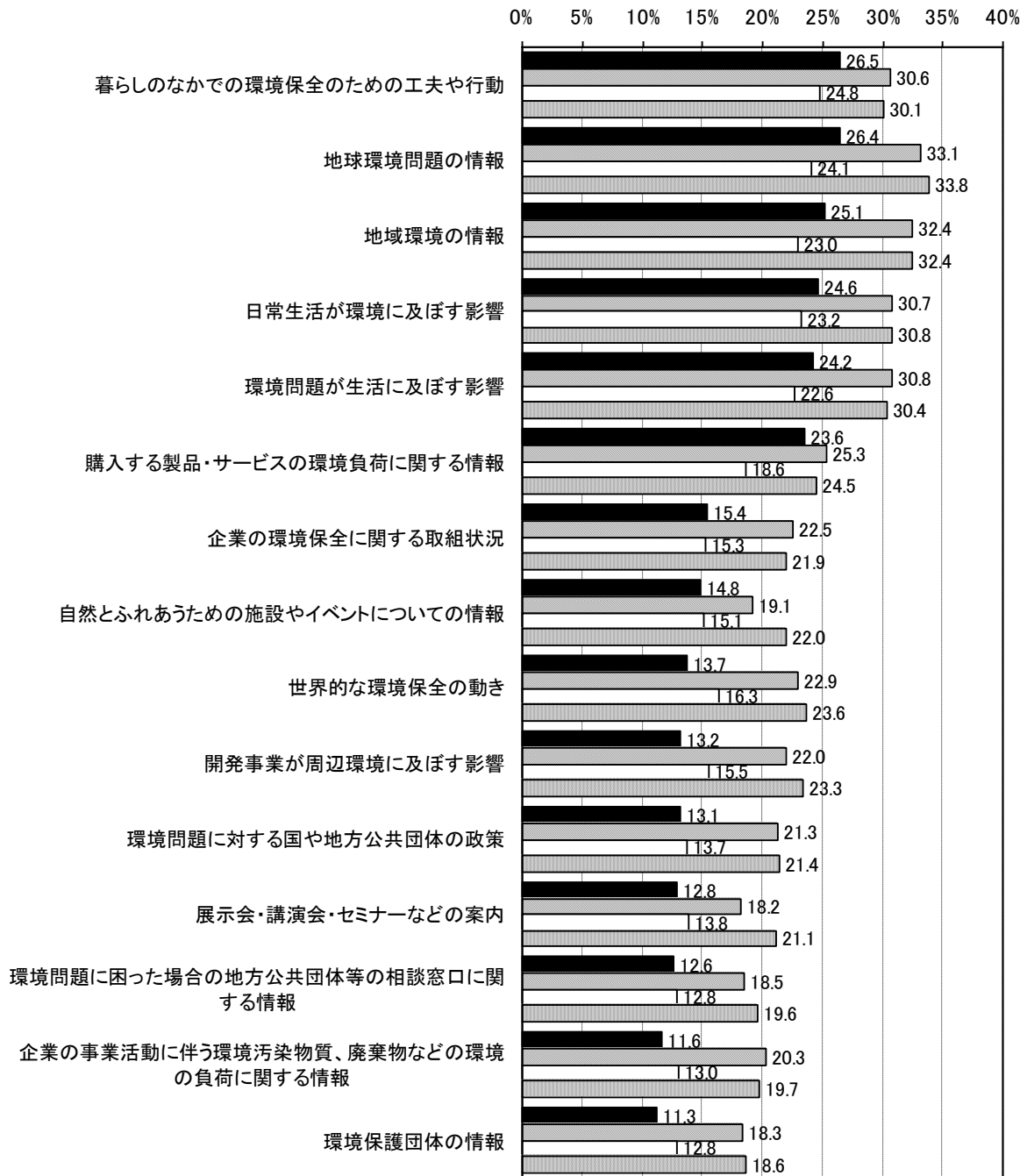
都市規模別でみると、政令指定都市で多くの項目の満足度が高く、町村は低くなっている。

図表 3-1 環境情報への評価



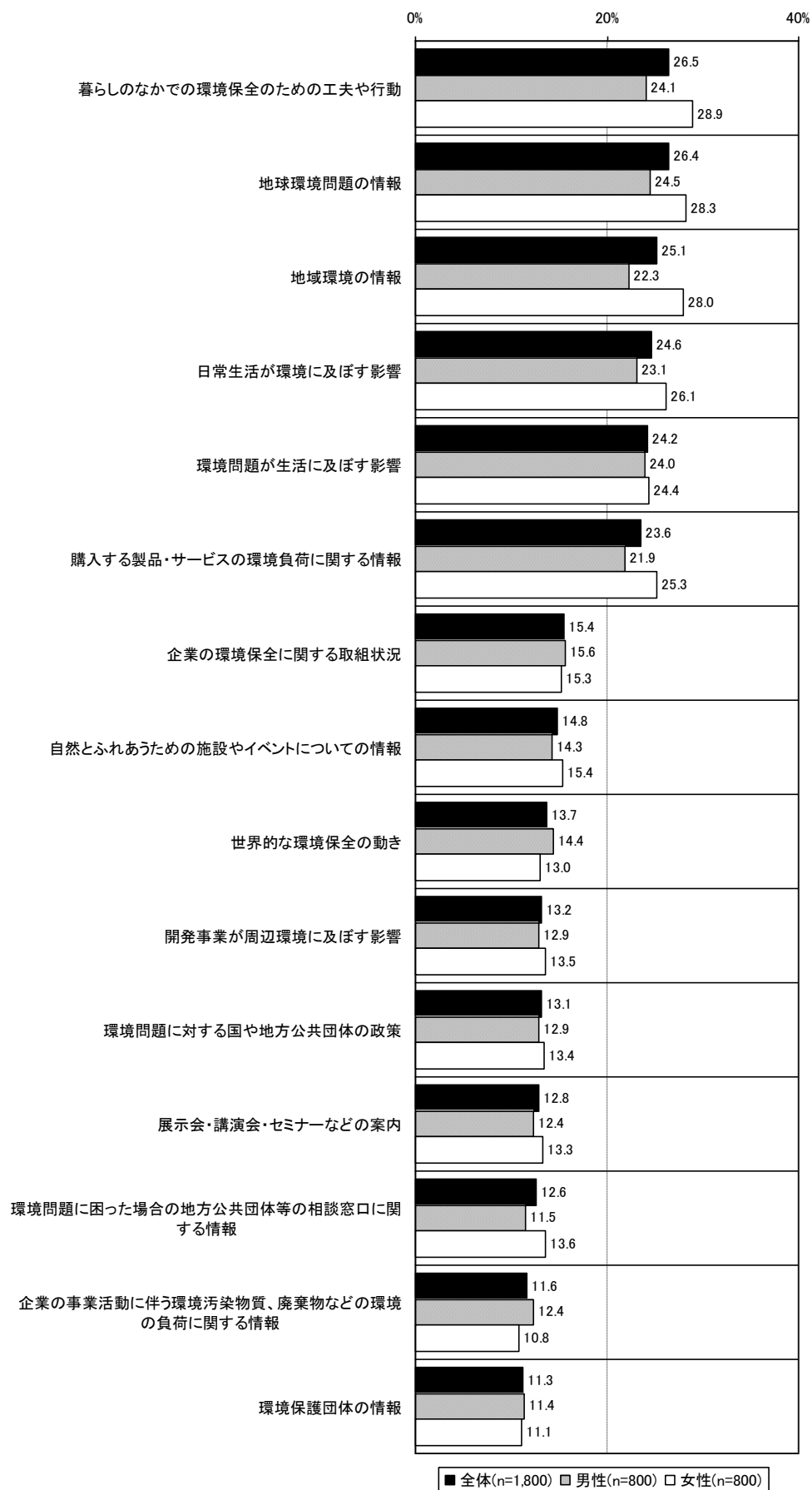
■ 十分満足している □ まあ満足している □ あまり満足していない □ ほとんど満足していない □ そもそも関心がない □ わからない

図表 3-2 環境情報への満足度 (時系列)
 (「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計)



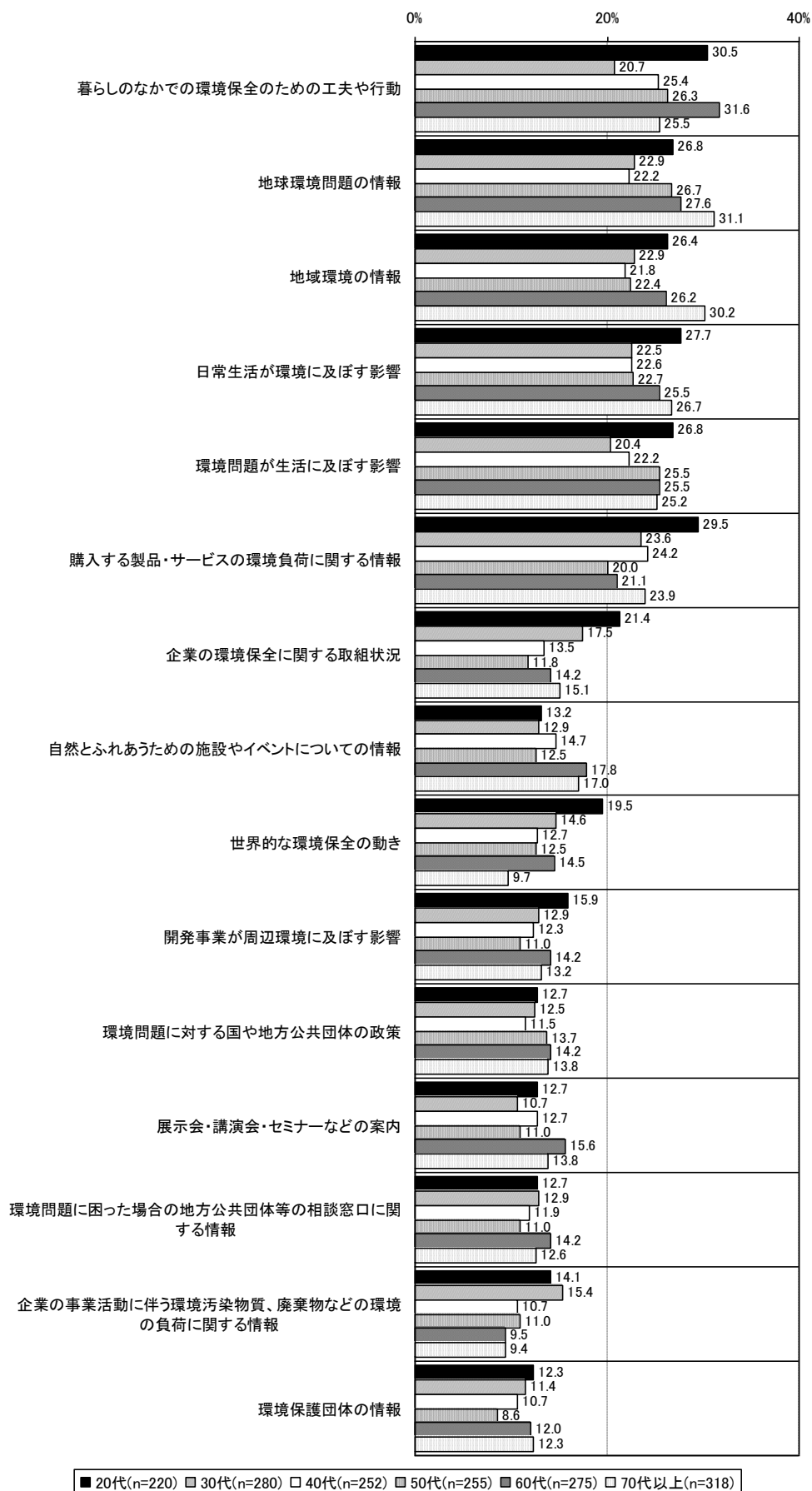
■ 平成21年度(n=1,600) □ 平成20年度(n=2,197) □ 平成19年度(n=1,627) □ 平成18年度(n=1,890)

図表 3-3 環境情報への満足度（全体、性別）
 （「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計）

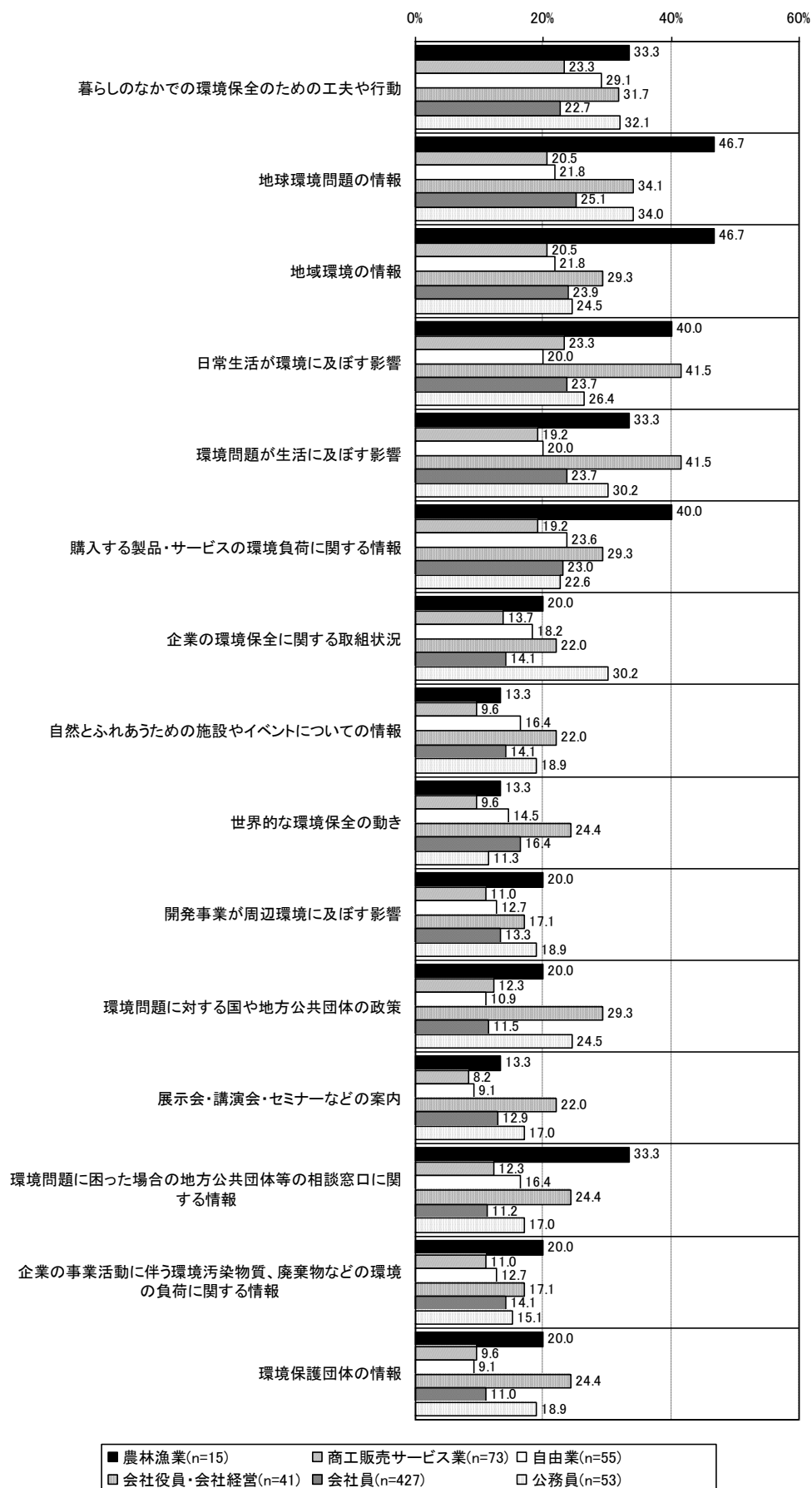


図表 3-4 環境情報への満足度（年代別）

（「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計）

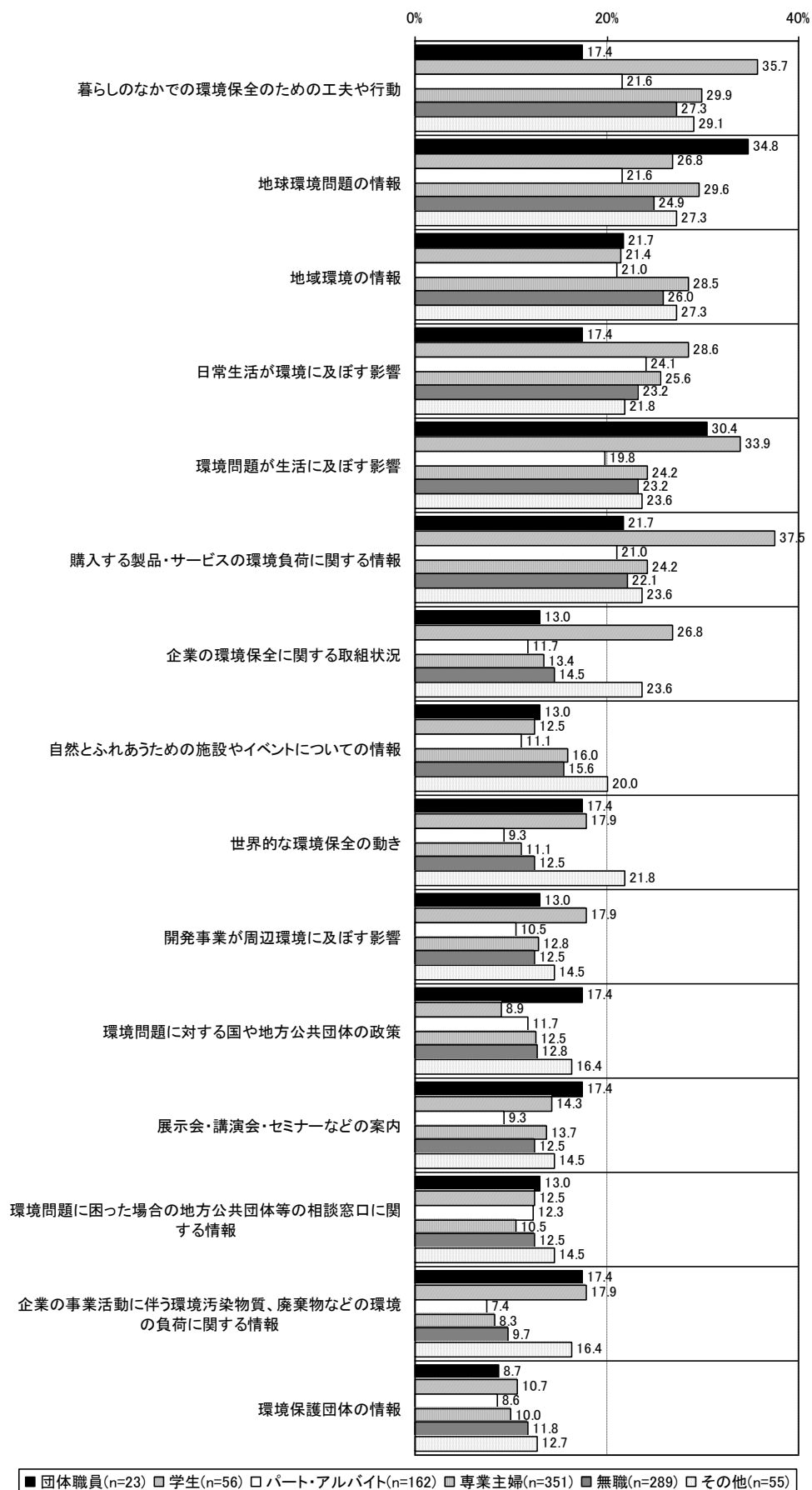


図表 3-5 環境情報への満足度（職業別 1/2）
 （「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計）



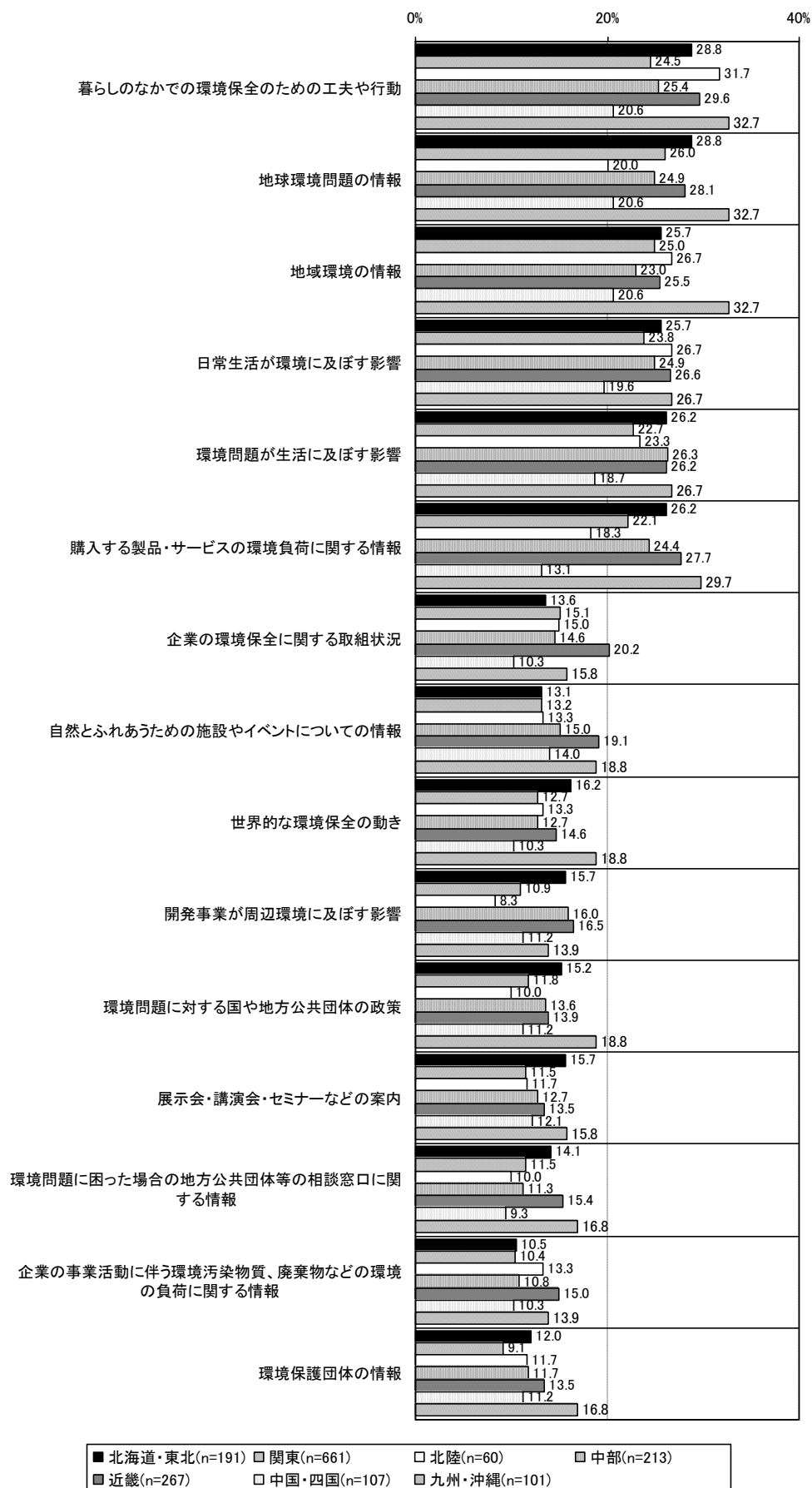
図表 3-6 環境情報への満足度（職業別 2/2）

（「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計）

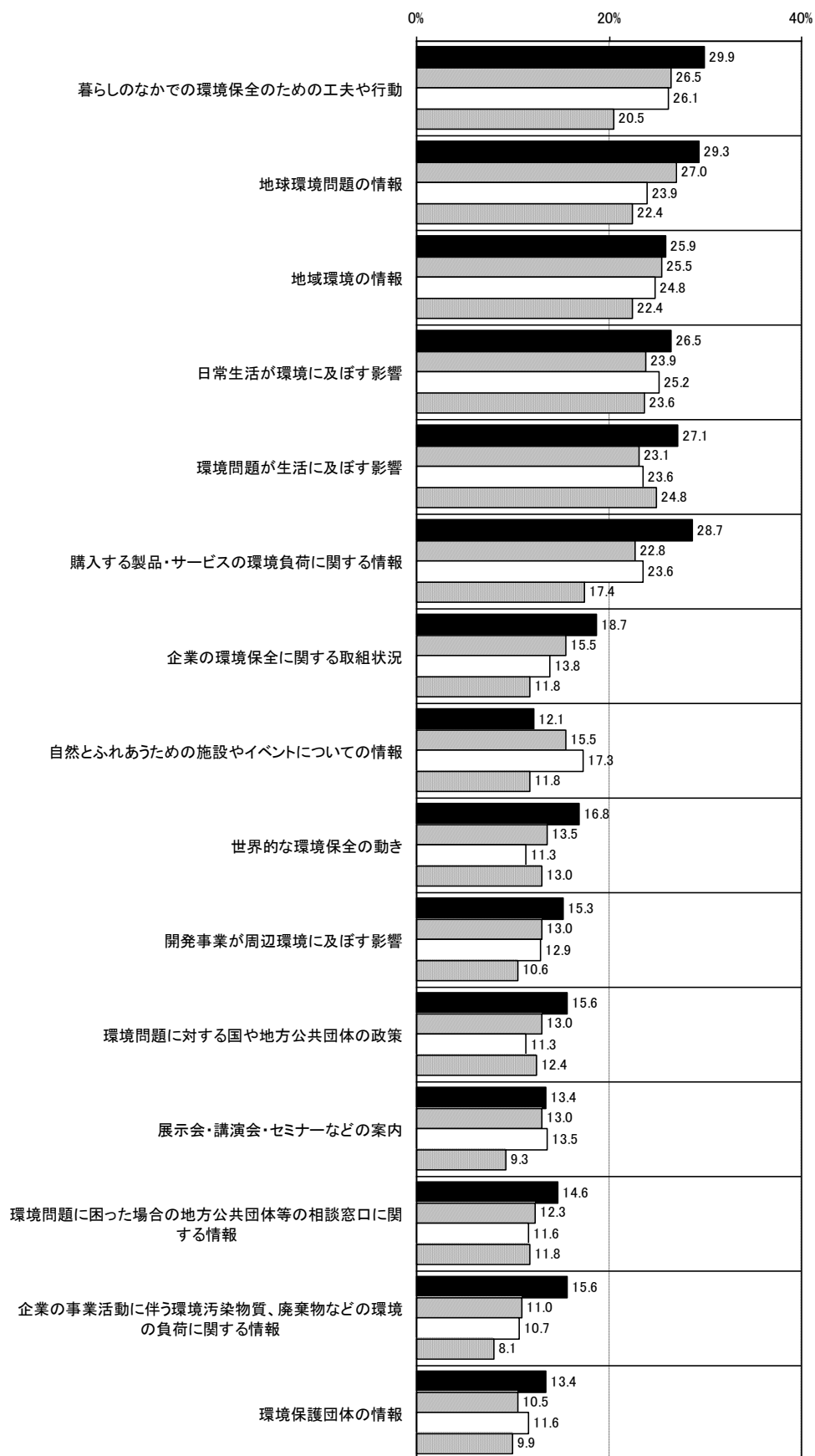


図表 3-7 環境情報への満足度（地域別）

（「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計）



図表 3-8 環境情報への満足度（都市規模別）
 （「十分満足している」、「まあ満足している」割合の合計）



■ 政令指定都市(n=321) □ 10万人以上の市、東京23区(n=800) □ 10万人未満の市(n=318) □ 町村(n=161)